

令和5年度 学校保健委員会

令和6年1月25日（木）14:00～

大阪府立住之江支援学校 図書室

次第

1. 開会 管理職あいさつ
2. 自己紹介
3. 報告 「学校保健活動について」
4. 校医・薬剤師の先生からの指導・助言
5. 情報交換・質疑応答
6. 閉会 管理職あいさつ

令和5年度学校保健委員会記録

令和6年1月25日(木) 14:00~15:00

大阪府立住之江支援学校 図書室

出席者：19名

(校長、教頭2名、学校内科医、学校歯科医、学校薬剤師、養護教諭1名、養護助教諭1名、栄養教諭1名、首席3名、学部主事3名、健康教育部部长1名、保健主事3名)

司会：中村先生 記録：岩原

1 開会あいさつ

最近の本校の様子をお伝えします。インフルエンザによる欠席者が増えています。

コロナ渦ではインフルエンザの声あまり聞かれませんでした。感染対策をしっかりしていましたが、ここまでインフルエンザが蔓延するとは予想外でした。また気持ちを引き締めて感染対策をしていかないといけないと思っています。本日は色々ご指導賜りますようお願いいたします(校長)

2 委員紹介

3 報告 「学校保健活動について」

- ・養護教諭・栄養教諭より、活動のまとめについて(別紙参照)
- ・けんこうタイムの動画「歯の健康及び正しい歯磨きについて」生徒保健委員会作成の動画「正しい手洗いの方法」放映

4 校医、薬剤師からの助言・指導

学校内科医より

- ・ビデオの内容は非常に良かったです。良い内容なのでもっと定期的に見せてあげても良いと思います。
- ・現在流行しているインフルエンザは8割以上がA型である。インフルエンザはA型が2種類あり、B型と合わせると3種類のインフルエンザが流行している。既にA型にかかったからもうA型にかからないといった先入観を持たないようにしてほしい。
- ・インフルエンザは綿棒での検査が痛いので、どうしても生徒さんや保護者は避けたいという思いが強い。その結果検査がおくれるパターンが見受けられる。もっと負担の少ない検査方法が開発されないといけない。
- ・新型コロナウイルス感染症やノロウイルス等の流行も徐々に増えてきている。
- ・住之江支援学校で毎年1回エピペンの講習会をしているが、処方マニュアルの内容が更新されるので、後日のエピペン講習会でお伝えしたいと思う。
- ・文科省からは、学校における健康診断時は着衣のまま検診するように通達があるが、着衣のまま検診すると、重要なところを見逃すことがあるかもしれない。生徒の実態に合わせて検診できたらと思う。

学校歯科医より

外傷が今まで何人か来られた。虫歯に関してはかかりつけの歯科があると思うが、外傷に関してはできるだけ早い対応が効果的であるので対応できるようにしたい。

学校薬剤師より

夏にプールの水質の検査をおこなった。小プールの塩素濃度が高いという記載があるが、基準を大きく上回ることはなかった。大腸菌も検出されなかったので来年度以降もこのような形でいったらいいと思う。

照度の検査を様々な教室でしたが、基準値を下回る教室がいくつかあった。日光が入りにくい構造や天井が高い等が考えられる。

5. 情報交換 質疑応答

Q 1 : LEDの方が照度的に良いのか？

A 1 : 実際に照度を検査したわけではないが、LEDの方が良いと思います。

Q 2 : 小プールでは透明度が保たれており、塩素を入れていれば、毎回水を入れ替えなくてもいいか？

A 2 : 基本的には水を入れ替えた方が良い。

Q 3 : 歯科では顎の外傷等の確認はしてもらえるのか。

A 3 : 顎の確認もしています。

Q 4 : 本校は新型コロナウイルス感染症の影響で歯磨き指導を中止していた。今後実施するにあたって乳の重度のアレルギーのある生徒に対しての歯磨き指導の注意点を教えてほしい。

A 4 : 重度の子は配慮が必要。個人個人の対応が難しい子は、部屋を変える等の対応をする。

校長より

学校で大切なのは、生徒たちが安全に過ごせる体制作りである。今後とも校医の先生方にはアドバイスを頂きたいと思います。本日はお忙しい中ありがとうございました。

8. 閉会

以上